

特色ある学校づくり 推進事業について

～学校長を中心とした学校づくり～

はじめに

東みよし町は、徳島県の西部、四国のほぼ真ん中に位置し、人口は約13,500人、まちの中心には雄大な吉野川が流れており、その両側を挟んで青々と茂った森林を携えた山々がある自然豊かな町です。

町内には小学校4校、中学校2校があり、本町教育振興計画の基本理念である、「郷土に誇りを持ち、郷土を愛する心を育む東みよし教育」を推進し、豊かな心を育むとともに、急速な情報技術の革新やグローバル化の進展、持続可能な社会への移行など、めまぐるしく変化する時代における諸課題に、柔軟に対応することができる、「未来を切り拓き、たくましく生きる「人財」の育成」を目指しています。

1. 事業の導入のきっかけについて

本町は平成30年度に総務省の過疎地域等自立活性化推進事業の採択を受け、小学校にて「わが町の未来を担う人づくり推進事業」を実施し、児童が地元の産業、伝統文化、特産物、ベンチャー企業などを手分けして取材し、写真を中心とした冊子を作成しました。

この取り組みは、それぞれの小学校の地域の特色が出ており、地域の方から、この活動に関する高い評価を受けました。そこで、次年度より、この事業に代わる「特色ある学校づくり推進事業」を開始しました。

2. 特色ある学校づくり事業について

(1) 事業の目的

本町では、町内すべての小中学校において、各種事業

を実施してきましたが、目標達成度や事業の深まりには、学校ごとの特色や違いも生じていました。

こうした状況が生じる要因としては、同じ町内と言っても、各学校の実態や地域のニーズに違いがあると考えられることから、各学校の特色を生かし、工夫した教育が展開できる環境づくりを整える必要がありました。

そこで、生きる力を備え、将来、たくましく社会で生き抜くことができる児童・生徒の育成を目指し、各校が地域や学校の実態に即した特色ある教育を、校長のリーダーシップのもと、各学校が主体的に取り組むために、本事業を実施しています。

(2) 各校の取り組み内容について

平成31年度から令和3年度にかけては、教育委員会事業費として各校20万円を予算化し、実施しました。事業の分野を1. 国際交流・英語教育、2. 地域連携、3. 自然体験、4. 環境教育、5. 学力向上、6. 福祉・ボランティア、7. 伝統文化、8. ICT教育、9. その他の9つに区分して、各校が選んだ分野について事業計画を作成し、取り組みました。

各校が実施した分野は、次の表のとおりです。

	平成31年度	令和2年度	令和3年度
足代小学校	ICT教育	ICT教育	ICT教育
昼間小学校	地域連携	学力向上	学力向上
加茂小学校	地域連携 伝統文化	国際交流 ・ 英語教育	国際交流 ・ 英語教育
三庄小学校	学力向上	学力向上	学力向上
三好中学校	国際交流 ・ 英語教育	国際交流 ・ 英語教育	国際交流 ・ 英語教育
三加茂中学校	地域連携	学力向上	学力向上

令和4年度については、より柔軟に事業に取り組めるように、各学校への補助金事業として実施しました。各校で行った取り組みについて、詳しく紹介します。

①【足代小学校】8. ICT 教育

足代小学校は県内でも ICT 教育の取り組みが盛んな学校です。Society5.0 時代に求められる人材の育成に向け、EdTech を活用し、児童の学びの在り方の転換を図るとともに、児童の学習の基盤となる資質・能力である情報活用能力を育成するための創造的な実践に取り組みました。

- 360度全天球カメラを購入し、オンライン配信等に活用することで、家庭や他校とのオンライン学習を通して、児童と教師、児童と児童の繋がり、学びを学校から家庭や他校へと広げることができました。
- 認知機能に着目した包括的支援プログラムを導入し、児童の認知機能の強化を図ることができました。
- EdTech を活用した実践を通して、児童の情報活用能力を高めることができ、かつ教職員のスキルアップを図ることができました。



②【昼間小学校】5. 学力向上

国語力の基礎となる知識と読解力の向上を図り、広く社会に目を向け主体的に考え、たくましく生きる子供を育成し、自己の学びを振り返り、自分に自信を持ち、さらに学ぼうとする力を高めるため、事業を実施しました。

- 新聞活用
全学年に毎日、新聞を配布し、休み時間等に気軽に読むことができるようにしました。高学年ではワークシートを活用し、記事の中から5W1H等を読み取ったり、記事に対する自分の考えを書いたりする活動に取

り組みました。低学年では、好きな記事を見つけたり、記事の中の「カタカナ見つけ」や「漢字見つけ」を行ったりしました。

• 朝読と週末読書

金曜日の朝の活動の時間を、全校一斉に読書する時間として設定しました。また週末に低・中・高の順番に、全員が本を持ち帰り、家庭読書を行いました。

• ことわざの紹介

毎日の学校放送において、ことわざの意味や使い方を紹介しました。



③【加茂小学校】9. その他（健康教育）

児童が主体的に取り組む、たくましい心と体を育む健康教育を実施しました。望ましい生活リズムを定着させ、生涯にわたる健康の基盤となる生活習慣の確立につなげるため、教材等を購入し、次の取り組みを行いました。

- 校内外の専門職と連携した、食、運動、歯科、性教育、心理に関する授業実践
- 水泳、なわとび、徒歩通学や外遊び推奨など、運動能力に関係なくすべての児童が継続的にできる運動の指導
- 町内小中学校の連携・教材共有による肥満児童の個別指導
- 児童の食の課題（野菜不足、そしゃく力低下、朝食欠食）に対する栄養教諭、歯科衛生士等との連携した取り組み
- 心のケア支援システム活用モデル事業を生かした児童支援、学級経営
- ICTを活用した児童委員会活動、全児童への保健指導の取り組み



④【三庄小学校】5. 学力向上

言語能力を育成するために、その基となる「国語教育」を充実させ、そこで得た成果を他の教科へ波及させなければならぬと考え、国語科を柱とした取り組みを特色として発展・進化させるために事業を実施しました。

- ・国語科の基礎基本の定着

全学年を通じて、統一した指導を行い効率を高めました。また5・6年の教育課程に漢字能力検定を位置づけ、補助金を活用し児童1人1,000円の補助をしました。

- ・学びを広げる「学校図書館の整備」

図書の見せ方の改善を行い、従来の方法より見やすく、紹介カードなども付け、読書意欲を高める工夫をしました。

- ・NIE教育推進

子ども新聞を各クラス分購入し、毎日の学習に活用しました。低学年は記事の紹介やカタカナ集め、中学年では新聞の切り抜きの感想を宿題にしたり、高学年では見出しを考えるなどの取り組みを行いました。



⑤【三好中学校】1. 国際交流・英語教育

三好中学校では事業開始当初より、英語教育を行ってきました。授業だけでは英語に触れる機会は限られているため、可能な限り日常的に、英会話に触れさせ、いつの間にか英語の発音に慣れ、聞き取りができる生徒を育てることをねらいとして取り組みました。

- ・毎朝、英語のリスニング教材を使った練習問題や動画視聴を行い、リスニング力の向上に取り組みました。また英検のリスニング問題を使って、7月と3月にリスニング力の向上も検証しました。毎朝短時間の練習は生徒の負担感も少なく、検証の結果、各学年共に点数が伸び成果が見られました。
- ・「英語能力向上事業」により全学年が11月に英検IBAを受験しました。
- ・実用英語技能検定受験料の8割を補助やALTとの面接練習を行い、受験しやすい環境を作りました。面接で不合格となった生徒も、補助や面接練習をもらえるからと、再挑戦をしています。
- ・1年生が米国オレゴン州のミドルスクールと交流（ペンパルクラブ）の活動をスタートさせました。

⑥【三加茂中学校】5. 学力向上

「国語力」は他のすべての教科に強い影響を及ぼしていると考え、「国語力」を鍛えることによって、すべての教育活動において、「聞く」「話す」「読む」「書く」という言語活動を伸ばすために、取り組みを行いました。

- ・読書環境を整える。

「並行読書」を取り入れ、各学年の教科書の作者の書籍を学級文庫として設置し、読書の機会を増やしました。また図書委員会の運営を活性化させ、図書館の利用や貸出図書の増加を図ったり、定期テスト等に長文の問題を取り入れたりして、読み取る姿勢を養いました。

- ・書く作業を増やす。

「書く」力を伸ばすため、徳島新聞社の「鳴潮書き写しノート」を配布し、朝の学習での課題とし、書く機会を増やしました。また定期テストなどで記述問題を増やし回答を考え表現する機会を増やしました。また、英語検定・漢字検定へのチャレンジを推奨するため、1,000円の補助をしました。

- ・話す機会を設ける。

各クラスでの「1分間スピーチ」や、授業で主体的、対話的で深い学びの機会を設けることで、「話す」「聞く」力を伸ばす取り組みを行いました。

おわりに

教育活動をしていく中では、現場の声を取り入れることが重要になってくると考えています。4年間の事業を通して、各学校がそれぞれ特色ある取り組みを進めることができましたが、内容をブラッシュアップさせていくために、令和5年度より各校への補助金の上限額を引き上げました。また各学校長より意見を聞き、各学校の取り組みで成果・効果のあったものを他の学校へも広めていくこととしています。

今後も校長のリーダーシップのもと、特色を活かした魅力ある学校づくりを推進していきたいと考えています。